

# 卒業を前に彫刻個展

崇城大大学院の宮原さん

「今までの取り組みを多くの人に  
見てほしい」と話す宮原萌さん



RP（繊維強化プラスチック製）。好きな鳥もさまざま  
な形で表現している。彫刻の魅力を「絵と違い360度、どの角度からも見ることができると」話す宮原さん。卒業後は、久留米市のインテリア関係の会社に就職する。「これからもデザインの勉強を続けていきたい」と意気込む。

開館は午前9～午後9時  
（最終日は午後4時）。芸文館110942（52）6435。  
（床波昌雄）

筑後市美術展で最高賞の大賞を受賞したこともある、崇城大大学院（熊本市）芸術学部2年の宮原萌さん（23）は佐賀県鳥栖市に由来の彫刻展「私小説」が12日、筑後市津島の九州芸文館で始まった。15日まで、入場無料。

宮原さんは、佐賀北高在

学中に彫刻と出会い、崇城大芸術学部美術学科に進学。2013年には彫刻「あした鳥になる」が筑後市美術展の大賞に選ばれた。卒業を前に「これまでの自分の取り組みを知ってもらおう」と個展を開催した。

ひときわ目を引く男性2人の裸像「カプセル」はF